科目名	対照言語学	
担当者	◎新内康子/入佐信宏/谷口明夫	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 講義 / 2 単位 / 2 年次	
科目概要	授業内容	日本語を第二言語とする人達に日本語を指導するのに不可欠な対 照言語学的視点を指導者として持つために、対照言語学とは何か、 を講義し、日本語と英語の対照、日本語と韓国語の対照、日本語 と中国語の対照、をそれぞれ行う。
	到達目標	 対照言語学とは何かを学び、対照言語学と第二言語習得との関連性が理解できるようになる。 日本語と英語とを比較対照し、英語母語話者の誤用原因の一部が理解できるようになる。 日本語と韓国語とを比較対照し、韓国語母語話者の誤用原因の一部が理解できるようになる。 日本語と中国語とを比較対照し、中国語母語話者の誤用原因の一部が理解できるようになる。
授業計画	(2) 対照言語 (3) (4) 母語の語 (5) 日本語。 (6) (7) (8) (9) 日本語。 (10) (11) (12) 日本語	と中国語との比較対照 (谷口) 同上 (谷口) 同上 (谷口)
自学自習	事前学習	・配布プリント・参考文献を前もって読んでおくこと。・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	各回の授業内容が定着するよう復習しておくこと。
使用教材· 参考文献	【教】教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリントを用いる。 【参】迫田久美子『日本語教育に生かす第二言語習得研究』2002年 アルク 水谷信子『実例で学ぶ誤用分析の方法』1994年 アルク 張麟声『日本語教育のための誤用分析-中国語母語話者の母語干渉20 例-』2001年 スリーエーネットワーク	
	<方法>前期末試験(85点)、受講態度(15点) <基準>上記評価方法により合計が60点以上に達成した者を合格とする。	
備考	西暦奇数年開講	